

地域の未来を
みんなで考えよう！



あおり型 農村RMO 農村型 地域運営組織 研修会

国では、総務省による地域運営組織(一般RMO)の支援に加え、農林水産省でも農村型地域運営組織(農村RMO)の支援を始めています。地域運営組織とは、地域の将来にむけて立場を超えて協力し合う枠組みのことです。このうち農村RMOは、地域ぐるみで農地の保全活動をしたり、農の恵みや農ある暮らしを伝えたりすることに軸足を置くものです。

青森県では令和6年度から「あおり型農村RMO」の形成に向けた取組をしています。農林水産省の支援が中山間地域と複数集落での取り組みに限られているのに対し、あおり型では中山間地以外の単独集落の取り組みも応援しています。

そこで今回は、そもそも農村RMOや一般RMOって何？という疑問にお答えしつつ、このままでは地域の農地や農業はどうなってしまうだろう、何から手をつけたらいいだろう、という思いを持たれた方に、一緒に考えはじめる機会をご用意します。

以下のような方はぜひお集まりください！

こんなお悩み
ありませんか？



あぜや水路の草刈り、
泥上げを一部の人がやってくれない。



耕作放棄地がぼつぼつと
広がってきてしまっている。



加工グループや直売所に
元気がなくなってしまった。



集落営農をつくってみたが後継者がいない。
集落営農もできていない。



多面的機能支払の組織の運営に不安がある。



中山間の協定が解散してしまった。
解散しなくても今後が不安だ。



地域の見守りや声かけが
うまく進まない。



免許返納が増えてゆくと
お年寄りの足が不安だ。



屋根の雪下ろしや間口の除雪に
手が回らない。

県や市町村の職員の方はぜひ係や課、部をまたいでお誘い合わせの上ご参加ください。

日時・場所 2026年9月3日(木)14:00～17:00

ウェディングプラザ アラスカ B1階サファイアの間
(青森市新町1丁目11-22)

内容 14:00～15:00 講演と質疑
農村RMOてなんだ？
橋本 惇 (JTB総合研究所)

15:00～17:00 ワークショップ
何から手をつける地域の未来
進 行 平井太郎(弘前大学)
藤崎浩幸(弘前大学)
岸岡智也(弘前大学)

申込方法

8月31日(月)まで

下記URLまたは二次元コードから
お申込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=23577

お申込みは
こちらから！

